

平成25年度 第2回鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会会議録

- 1 日 時 平成26年3月6日(木) 午後1時30分から2時30分
- 2 場 所 総合福祉保健センター4階 会議室
- 3 出席者 (1) 出席委員
中井委員・井上委員・尾崎委員・福島委員・和田委員・金子委員・
望月委員・眞田委員(代理相馬委員)
- (2) 欠席委員
石川委員
- (3) 事務局
田中課長・鈴木主幹・菅井主幹・生原副主幹・山田副主幹・
西山副主幹・本間副主幹・太田主査
- 4 傍聴者 0人
- 5 議題等 (1) 議題
① 「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について
② 食育推進部会及び歯と口の健康づくり推進部会の平成25年度事業
実績および平成26年度事業計画(案)について
③ 平成26年度福祉健康フェアへの参加について
④ その他
- 6 配布資料 ①第二次いきいきプラン・健康かまがや21の進捗状況について・・・資料1
②平成25年度食育推進部会事業・・・・・・・・・・・・・・資料2
③平成25年度歯と口の健康づくり推進部会事業・・・・・・・・・・・・資料3
④「平成かまがや福祉健康フェア」への参加について・・・・・・・・資料4
- 7 会議の概要
会長、副会長選出
会長挨拶
会議録署名人の選任 「尾崎委員」「福島委員」が選任される。
鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会設置要綱第6条の規定により、会長が議長となり議事を
処理する。

(会長) それでは議題に入ります。本日の議題は3件でございます。審議の程、よろしくお

願います。

では、議題の1「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について事務局説明をお願いします。

(事務局)「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について、資料1に沿って説明(西山副主幹)

まず、初めに各領域における事業の取り組みについての進捗状況を説明します。この表の見方は、左半分には、計画書の内容を記載し、中ほどに24年度、右側の黄色い部分には25年度の事業を記載してあります。25年度中に計画どおり取り組めたか、各領域の担当者が評価を行いました。評価の段階はAは全て取り組んだ、Bはほとんど取り組んだが一部未実施、Cは未実施のものが多く、となります。

全86項目のうち、Aと評価した項目は61、また、Aの評価で今年度事業を追加して取り組んだ項目は、24ありました。追加した事業は赤字で示しました。前年度と同じで、Bの評価は16ページの「口腔がん予防についての普及啓発」ですが、26年度は、船橋歯科医師会のご協力を得て、市内歯科診療所で、口腔がん予防についてのチラシの配布や講座、健診等で普及啓発していく予定です。

次に各領域における重点対策について、今年度新たに追加して取り組んだものを説明いたします。4ページ①栄養・食生活の領域では食育の推進として、高齢者の低栄養予防に重点を置き、マジックカード等を用いて取り組みました。これは、市内談話室や介護予防講座等18回にわたって、高齢者の集まる場に管理栄養士が出向き、マジックカードの作成や調理実習を交えながら、バランスのよい食生活について、普及啓発したものです。

11ページの緑色の赤字部分にある③休養・こころの健康づくりの領域では、「親子のふれあいを大切にする活動の推進」として、絵本を通じた親子のふれ合いの大切さを伝えるブックスタート事業が、地域の子育て支援の場で広がり、継続して行えるよう、ボランティアの増員を図るため、新規のボランティア研修会を行ったところ、9名の参加があり、58名(資料では57名)で活動を行うことになりました。また、4か月児健康相談では、ボランティアが読み聞かせだけでなく、親子のふれあう時間の大切さ等を直接伝えることができたり、母親から子育ての様子を聞くことで、子育て支援の活動に携わることができました。

また、同じく11ページの下の方の赤字部分に「自殺予防対策の推進」として、平成26年2月27日にゲートキーパー養成研修会を行い43名の参加がありました。これは、自殺予防対策の人材育成を目的に民生委員やボランティア、市職員等を対象に、講習会を行ったものです。

16ページ④歯と口の健康づくりの重点対策として、「永久歯のむし歯と歯周病予防の推進」については、むし歯予防の推進として、フッ化物洗口実施施設の拡大のため、未実施の小学校8校における基盤整備として、教職員、保護者向けの説明会の実施、器具機材の購入等実施し、18年度から取り組んできたフッ化物洗口が全小学校実施に向

けての準備段階を終えました。26年度からは、1年生が洗口を開始し、順次実施学年を増やしていき、平成31年度には、市内全小学校全学年で実施していく予定です。

また、「口からはじめる「食育」の推進について」は、歯と口の健康づくり推進部会の取り組みで報告します。

22ページ⑤疾病予防の重点対策として、「生活習慣病予防の推進（特定健康診査・特定保健指導）」については、特定健康診査の受診率向上のために、市民まつり等でパンフレット配布の啓発活動の実施。健康診査未受診者に対しては、市のキャラクターを印刷したはがきを再通知し、受診率の向上に努め、特定保健指導の対象者で申し込みが無かった人への電話と訪問による利用勧奨を行いました。受診率については、平成23年度29.5%、平成24年度30.1%となっています。

23ページ感染予防の推進として、急速な流行が見られた風疹の拡大を防ぎ、妊娠中等の女性への感染予防を推進し、市民が安心して出産できる環境を整えることを目的として、風疹等の予防接種費用助成事業を実施しました。新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく市が行う集団的予防接種を想定した対応について、庁内常勤看護職を対象とした研修会の実施や、国の「市町村における新型インフルエンザ住民接種の体制に関する研究会」に参加するなど、素早い対応が取れるよう日頃から研鑽を積んでおります。なお、風疹等の予防接種費用助成事業については、2月末現在636件の助成を行いました。

(会長) ただ今の「第二次いきいきプラン・健康かまがや21の進捗状況」につきましてご意見、ご質問等ございますか。

特に質疑なし。

(会長) 続きまして、議題の2「食育推進部会及び歯と口の健康づくり推進部会の平成25年度事業実績及び平成26年度事業計画（案）について」それぞれの部会長さんより説明をお願いします。

(会長) 食育推進部会お願いいたします。

(部会長) 詳細につきましては事務局からお願いいたします。

(事務局) 平成25年度食育推進部会の事業と、平成26年度食育推進部会事業計画（案）資料2に沿って説明（太田主査）

平成25年度食育推進部会事業についてご報告いたします。食育推進部会は鎌ヶ谷市食育推進計画を遂行するため次の事業を行いました。

表1. 会議の開催につきましては、3回の部会を開催いたしました。第1回部会は7月12日金曜日14時30分から16時、出席者15名、委嘱状の交付、部会長の選任

平成24年度事業について、平成25年度食育推進事業についての検討を行いました。

第2回部会11月27日水曜日14:00～16:00出席者18名、コンクール審査のため30分繰り上げての開催となりました。審査後食育講演会実施に係る打ち合わせを行い、平成26年度事業についての検討を行いました。

第3回部会につきましては2月28日金曜日14時30分～16時17名出席平成25年度事業のまとめ、及び平成26年事業の検討を行いました。

表2. 研修会は10月29日火曜日市内食品産業工場見学とし、「山屋食品株式会社鎌ヶ谷工場」の見学をさせていただきました。参加者13名でした。山屋食品のトマトソースやケチャップ製造についての熱い思いを聞かせていただき、大変良い研修会となりました。

表3. 食育講演会については、平成26年2月1日土曜日に開催され167名の方が参加されました。講演会講師には柏「千仙」の料理長 鈴木隆利氏をお迎えし、伝承日本の食文化—現代の名工が語る—「日本料理 千夜一夜」と題し、包丁式の画像や、その場での剥きものの実演と共に日本の食文化についてお話を伺うことができました。また、「我が家の自慢料理レシピコンクール、思い出に残る食体験4コママンガコンクール」優秀作品の表彰式、作品の紹介も行われました。展示コーナーでは「鎌ヶ谷市食育推進計画」「鎌ヶ谷市内の食育推進事業の紹介」「嚙ミング30」の啓発、ふるさと産品の配布も行いました。またコンクール応募レシピ、作品につきましては、作品集として編集し講演会来場者、及び募集についてご協力いただいた市内小中学校、保育園、幼稚園にも配布いたしました。

次に、平成26年度食育推進部会事業計画案についてご説明いたします。平成26年度事業につきましては、3年間の事業の推進により、それぞれの事業が定着しつつあることと平成28年度からの第2次計画策定に向けての準備のため、平成25年度事業と同様の形で実施していく方向で進めております。しかし、全体で取り組むイベントとして実施している「食育講演会」については、内容と名称の違いがあり、もっと市民の方に親しんでいただけるような事業名に変更していくこととしました。

内容は、第1回部会、6月26日火曜日。研修会10月実施、第2回部会11月28日金曜日、食育講演会平成27年1月31日土曜日、名称の変更と「嚙みんぐ30関係表彰式」が加わります。第3回部会平成27年2月27日金曜日開催という内容での事業案を以上のとおり計画いたしました。

(会長) ただ今の食育推進部会の事業実績及び平成26年度事業計画(案)につきましてご意見、ご質問等ございますか。

特に質疑なし。

(会長) 続いて歯と口の健康づくり推進部会お願いいたします。

(部会長) 歯と口の健康づくり推進部会では、平成25年度は「嚙ミング30」の普及啓発

を、26年度は「嚙ミング30」に加え「歯周病にならない、悪化させない」をテーマに取り組みを行っていきます。詳細につきましては事務局からお願いいたします。

(事務局) 歯と口の健康づくり推進部会事業及び、平成26年度歯と口の健康づくり推進部会事業計画(案)資料3に沿って説明(西山副主幹)

それでは、歯と口の健康づくり推進部会の報告をいたします。

平成25年度は、「嚙ミング30」をテーマに活動を行いました。まず1番目に3回の部会を行い、2番目に部会関係団体の関係者を対象に研修会を行いました。内容は「歯科から見た子どもの健康づくり」で、講師は鶴見大学歯学部小児歯科学教授朝田先生にお願いいたしました。3番目によく嚙んで食べることの習慣づくりを推進するため、嚙ミング30イメージキャラクターコンテストを実施し、今後の周知活動に使用する「嚙ミング30イメージキャラクター」を募集しました。結果として94点の作品、(内訳は幼稚園児2、小学生65、中学生22、高校生1、社会人4でした)が集まり、最優秀1点、優秀2点、佳作5点を選出しました。最優秀は、鎌ヶ谷第三中1年西村優花さんの作品で「カミングママ」になりました。11月21日(木)いい歯の日講演会にて最優秀者の表彰を行いました。4番目に、この最優秀作品をもとに「カミングママ」をCG化して、今後の周知活動で使うことを決定しました。また、5番目は、子どもたちに嚙む体験をしてもらうために、嚙む回数を測定できる「かみかみセンサー」を貸し出す活動ですが、道野辺小、南部小、北部小、中部小、五中の保健委員がよく嚙む体験をしました。6番目に周知活動として、広報かまがやに嚙ミング30の記事の掲載することや中学1年生を対象にした食育講演会で「嚙ミング30」講話を行い、嚙む効用「ひみこのはがいーぜ」の紹介や咀嚼力判定ガムを実施しました。

次は、平成26年度の計画案についてですが、取り組みのテーマは「嚙ミング30の普及啓発」と「歯周病にならない悪化させない」としていきます。「嚙ミング30の普及啓発」については、26年度で4年目を迎え、取り組みも定着してきましたので、歯と口の健康づくり領域の次の重点目標「歯周病にならない悪化させない」についての取り組みを検討していきます。26年度は、部会を3回、研修会を1回、周知活動を継続させていくという内容ですが、名称はまだ未定ですが、嚙ミング30関連のコンクールを計画する予定です。

以上、歯と口の健康づくり推進部会の報告を終わりにします。

(会長) ただ今の歯と口の健康づくり推進部会の事業実績及び平成26年度事業計画(案)につきましてご意見、ご質問等ございますか。

特に質疑なし。

(会長) 続きまして、議題の3「平成26年度福祉健康フェアへの参加について」事務局説明をお願いします。

(事務局)「平成26年度福祉健康フェアへの参加について」資料4に沿って説明(生原副主幹)

平成26年度福祉健康フェアが開催されることになりましたので、健康づくり推進協議会として参加を予定しています。26年度は10月19日(日)が開催予定となっておりますが、4月16日の役員会で決定します。開催テーマ、開催場所、内容については26年度の役員会で随時決定されます。健康づくり推進協議会としては、昨年と同様で「自分のからだを知って、いきいき健康づくり」とし、相談、計測、展示、体験等で参加したいと考えています。相談につきましては、毎年、鎌ヶ谷市医師会、船橋歯科医師会、船橋市栄養士会様の協力のもと実施しております。また、展示、体験コーナーでは、習志野健康福祉センター様には、たばこやアルコールについての展示、体験等、鎌ヶ谷市料飲組合様には、食品衛生についての指導、啓発等でご協力いただいております。26年度につきましても、ご協力をよろしくお願いいたします。また、その他、握力、足指力等の計測やがん検診、特定健康診査・特定保健指導、自殺予防、食育関係、噛ミング30関係等の展示を予定しております。

(会長)ただ今の「平成26年度福祉健康フェアへの参加について」ご意見、ご質問等ございますか。

特に質疑なし。

(会長)今日の全体に関することでも、議題に関することでもよいので、何かご意見ございましたら順番にお願いいたします。

(A委員)歯科関係の歯と口の健康づくりでは、むし歯予防よりも、よく噛むことを目標に噛ミング30運動を推進しています。むし歯の予防の推進としては、行政によるフッ化物洗口の基盤整備により平成31年度には全小学校全学年で実施していくこととなります。船橋市もモデル校で実施することになりました。今後もむし歯予防とよく噛むことを2本の柱として取り組んでいきます。

(B委員)自殺予防の取り組みとして、ゲートキーパー養成研修会では保健所から講師の派遣をおこないました。新事業等でもお役にたてることがあれば協力したい。今後は感染症等についても協力していきたいと思っています。

(C委員)高齢者の低栄養予防に重点を置き教材を用い、わかりやすく説明したのはよかった。栄養士会として、福祉健康フェアにも協力しており、今後も連携して取り組んでいきたいと思えます。

(D委員) 福祉健康フェアに毎年参加させてもらっている。ノロウイルス等食中毒予防についても、啓発活動をしていきたいと思います。

(E委員) 保健推進員は30名、2年任期で活動しています。生後2～3カ月の乳児のいる家庭に訪問したり、健康相談や健康診査でお手伝いをしたり、より良い活動ができるよう月1回の研修に参加しています。福祉健康フェアでは赤ちゃんハイハイ大会や手型、足型コーナーを担当しています。家族の皆さんとお子さんの成長を見守っていかれたらと思います。

(F委員) 歯と口の健康づくりについての活動は、保育園、幼稚園での歯磨き指導や保護者会での普及啓発等こどもの成長には欠かせないものだと思います。

(G委員) 学校ではむし歯予防として、フッ化物洗口でかかわっています。「いきいきプラン・健康かまがや21の進捗状況について」の説明にあったように、フッ化物洗口が全小学校実施に向けての取り組みがなされていることから今後もよろしくお願いします。

(会長) ご意見ありがとうございました。4番目のその他ということに関して事務局何かありますか。

(主幹) 特に議事ということではないのですが、今回急遽、第2回目の会議を開催させていただきました。例年7月に開催しておりましたが、4月より部会の事業を実施するためには、3月までにご意見をいただく必要が生じたため、今回の運びとなりました。今後はこの時期に開催する予定ですが、計画策定の時期になりましたら、年度途中の開催もございますので、よろしくお願いいたします。

(会長) 他にご意見が無いようでしたら、これを持ちまして、議事終了といたします。

閉 会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成26年3月6日

署名人 尾崎 隆

署名人 福島 節子